



## ☆防災情報

□知っておきましょう (6) ～非常時(大地震の時)の初期消火の重要性～

### (1) 小川地区の環境一火災に対して決して強くない

我々の環境は火事に対して強いと思っている人がかなりいるのではないのでしょうか？道路も比較的広いし、最近の家は耐火構造になっているから、そんなに怖がらなくとも良いのではと考えている人が多いのでしょうか？

しかし、それは平常時のことです。皆さん、ドント焼きを見に行ったことはありませんか、その火の勢いを考えてみてください。消防車が来ない放任火災の火は耐火構造があっても20分程度で延焼します。小川のどこかで火事が出たら、あっという間に1ブロック程度に燃え広がります。火災は1個人・1家庭の問題ではなく、我々は運命共同体なのです。

### (2) 自治会の自主防災隊はボランティアでも絶対必要

我々はボランティアです。元々、平常時では消防署や消防団がありますし、ボランティアが間に入るとは邪魔になるくらいでしょう。しかし、もし大地震があつて、同時にあちこちに火災が起きたら、消防車は優先順位の高いところへと出動します。

ご存知の方もあると思いますが、平常時でも火事には8台の消防車が出動し、2時間ほど掛けてやっと鎮火します。今 町田市の消防車は12台です。消防車は小川には来ないという前提で対策を考える必要があります。その時、プロほど強靱ではないが、そしてスピードも速くはないが、延焼を食い止めるのは我々のボランティア活動しかないのです。

### (3) これまでやってきたこと一火災に対する備えは増えています

小川の防災隊は火災対策で何をやってきたのでしょうか？

- ・家庭用の消火器斡旋を致しました。あたらしい消火器が345本準備されました。
- ・50戸に1本という町田の基準で 街頭消火器は34本 設置されました。  
(内10本は自治会で購入、設置しました。)
- ・スタンドパイプは小川自治会で5セット(各支隊に1セット) 配備されました。  
昨年はスタンドパイプの訓練だけでも7回実施しました。
- ・どこに消火栓があるかは防災マップに記載されています。

以前から見れば、防災力は確実に増したと思います。しかし・・・??

### (4) それでは安全なのかーまだまだやることが沢山あります

大地震の時に、頼りの水道は大丈夫か？スタンドパイプを担う人は誰なのか？スタンドパイプの放水が出火から20分以内に来るのか？ 延焼を抑えるためにはスタンドパイプの数が足りないのでは？ 延焼にならない内に消火するためには、近所の消火協力活動が意識されているか？ 消火器の数は？ 風呂の水は？ バケツは？ 煙探知機があるか？ 感震(電気)ブレーカーは設置されているか？ などなど・・・まだまだ課題があります。

絶対の安心はありませんが、防災隊も隊員も一人一人100%を目指して改善して行きましょう。またどうしても100%にならない時の覚悟も大切だと思います。

改めて運命共同体であることを認識し

- |                                 |    |
|---------------------------------|----|
| ①まずは自宅の備えと早期の消火(安全ノートを参考にして下さい) | 自助 |
| ②ご近所の協力体制                       | 近助 |
| ③自主防災隊の初期消火体制                   | 共助 |
- で火災の脅威と被害を少しでも減らしましょう。

あなたの防災力=近所の防災力=小川の防災力です

(防火・消火専門班 小林 勝美 記)